

第三章 産業

二丈町は、豊かな自然がもたらす生産環境に支えられて、農林水産業を基幹産業として発展してきました。220万人を抱える福岡都市圏の中にあり、生鮮食料基地としての役割を果たしています。

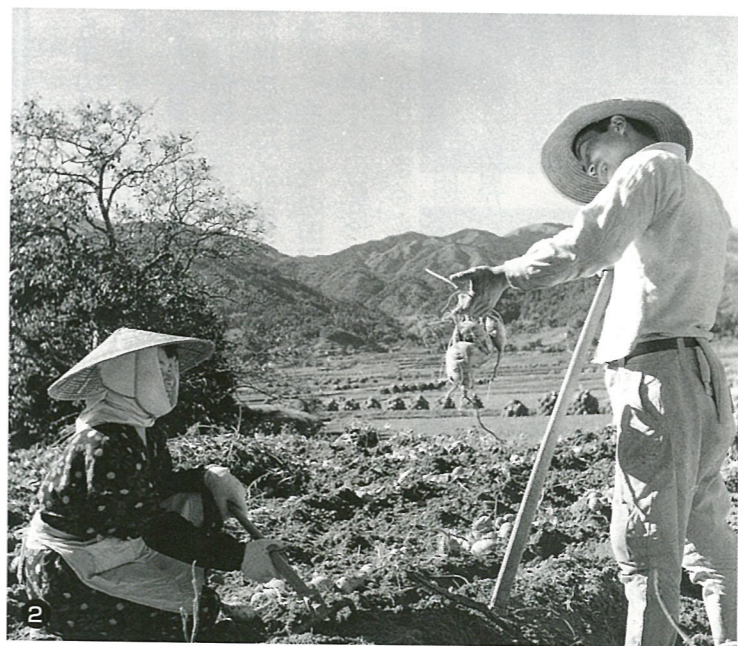
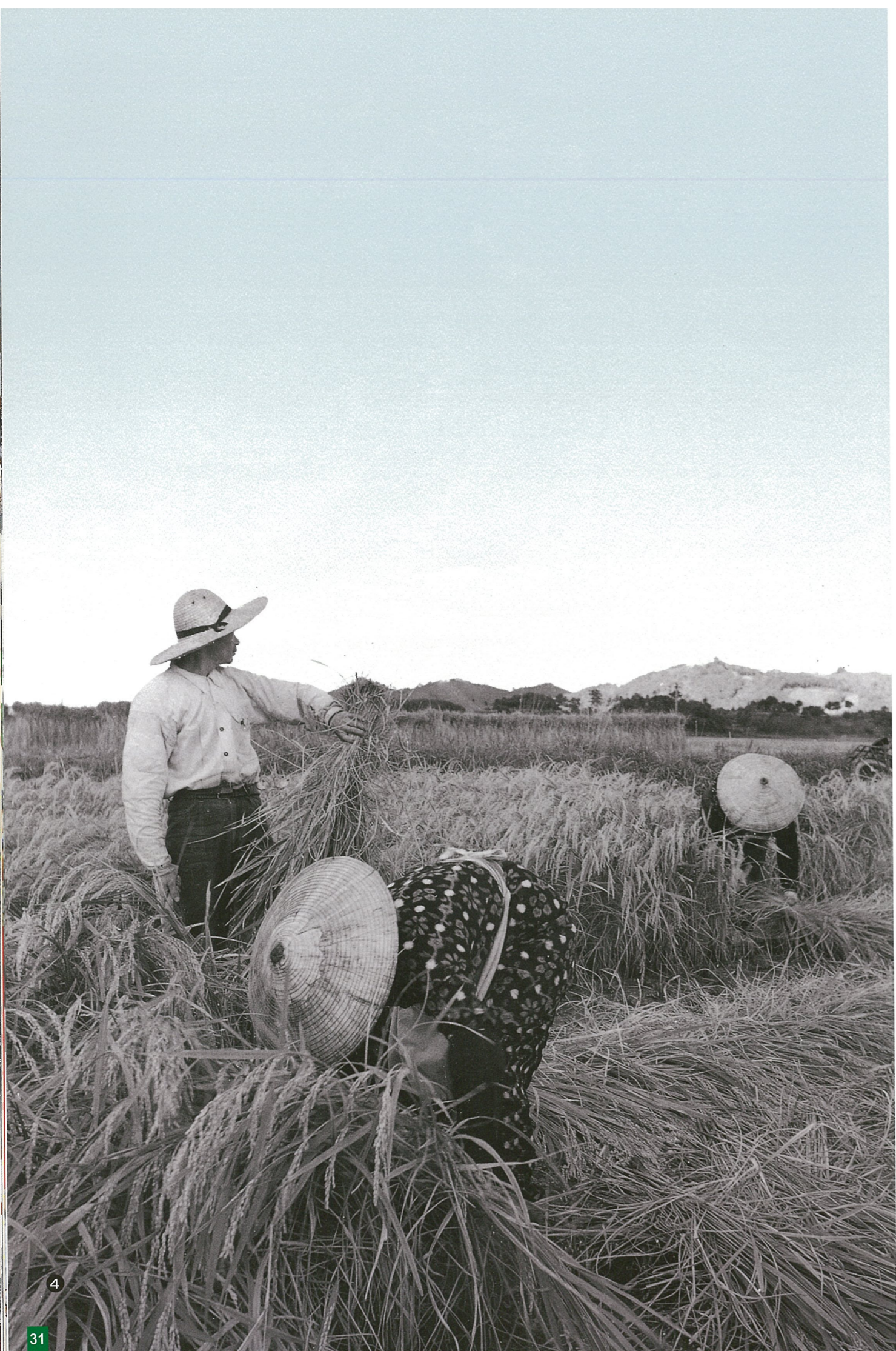
農業は、ほ場などの生産基盤の整備を積極的に進めるとともに、農地の流動化や大型機械の導入、共同利用により、生産性の向上やコストの低減を図っています。ハウス栽培による高収益型農業への転換も進みました。

林業は、森林組合の機能強化を図りながら、計画的に森林を整備するために針葉樹と広葉樹の複層林化を進めています。また、観光化を推進するため、真名子木の香ランドや樋の口ハイランドを整備してきました。

漁業は、漁港整備はもちろん、人工漁礁の設置などによる漁場整備、カキやワカメなどの養殖を進め、「つくり育てる漁業」に取り組んでいます。

商工業については、商工会が経営改善と商店の活性化に努めています。また、町では、企業誘致も積極的に進めています。

町をあげて地域発展に尽くす。



写真① 川の水を田んぼにくみ上げるための足踏み水車。昭和35年（1960）ごろ、波呂で撮影されたものです。

写真② 農作業の合間の楽しいな話。昭和32年（1957）の撮影です。

写真③ 耕うん機などの農業機械ができる前の農耕風景。牛や馬に犁すきを引かせて田を耕していました。写真①と同じころの写真です。

写真④ 手作業の稲刈り風景

